

平成 30 年 10 月 13 日

10 月 クラブ集会議事録

1. 集会日 平成 30 年 10 月 11 日 (木) 19 時 30 分～21 時 30 分
2. 出席者 池田会長、宮川、裏野、宮内、山下、山下海、大畑、畑中、坂本 (記) 9 名出席
3. 議 事

(1) 10 月例会 (協会秋季大会) 要綱について

- ・場 所 熊野一帯
- 対 象 魚 全日本対象魚 2 匹の S 割合計ポイントの合計 (基準寸法以上)
- 参 加 費 7000 円
- 集合時間 10 月 27 日 (土) 午後 9 時集合 9 時 30 分出発
- P J 裏野、宮内、畑中 餌担当: 畑中
- 審査場所 山崎運動公園駐車場

※ 熊野会場の審査担当ですので、皆さんの協力を宜しくお願いします。

(2) 協会クリーンアップ集合時間について

- ・現地集合が午前 9 時となっているため、駐車場からの徒歩時間を考慮して、少なくとも現地に 8 時 30 分頃には集合するようお願いする。
- ・集めたゴミ分別の表記看板製作、看板固定の杭等の手配分担を行った。

(3) 9 月協会理事会報告 (坂本より)

■連盟常任理事会報告

●全日本オープン SC 選手権大会について

- ・実参加者 82 名で開催された。当日は追い風が少しくつかったが、7 名の選手が日本記録を出された。大阪協会の選手では、ST-A 種目で大宮さんが 3 投平均 199.00m、ST-C 種目で外山さんが、3 投平均 181.48m、最長 183.20m の三つの記録が日本記録に認定された。私が協会長となって、キャスティングの日本記録は初めてであり、大変嬉しい結果だった。キャスティングの会場使用費が 1 回の開催で 23000 円掛かり、本部に負担できないかとの意見があったが、SC 部の手持ち資金では、会員減少、用品の売り上げ減少、資材の購入等があり連盟 SC 部では賄いきれなく、会場費を運営予算 (PJ が組む) に計上することで承認された。次に、台湾の方の対応費用について、連盟より 150000 円の仮払いを受け、残金 28972 円が本部に返金し、承認された。

●全日本キャスティング選手権大会について

- ・参加者については旧会場に 6 時 30 分に集合する。全員で備品を積み込み、会場の森林公園に向かう。申し込み締切りは 9 月 30 日、参加費入金は 10 月 4 日となっている。なお、新規参加者の方にはポロシャツが進呈されるので、多くの参加をお願いする。7 月の連盟会議の中で、投擲時に身に付けた物がエリア外に出た場合、如何なる物でもファールになるのではとの指摘があり、SC 部としては竿、リール、錘がエリア外に出た場合と、踏み切り板から出て行う投擲はファールになると理解している。この指摘があったのは、両軸リールを使用した場合、親指にテープを貼りブレーキをかけた際、テープが剥がれエリア外に飛んだ場合は、ファールになるのか問題定義された。ここでの如何なる物とはどういったものなのか、話の中には ST 競技で、帽子が脱げライン外に落ちた場合の例も上げられ、年末の常任理事会で明確にすることになった。

●災害義援金について

- ・先月の理事会にて皆さんにご協力いただいたが、様々なご意見があり義援金を送る事

の承認を得る連盟会議があり、審議の結果拍手をもって承認された。連盟には 11 協会より義援金が寄せられており、被災された協会は、愛媛、岡山、広島 の 3 協会です。

■第 41 回 東西投げ釣り 100 人の会結果報告

- ・受付けのご協力ありがとうございました。無事終了したが、成績はあまり揮わなかった。決勝進出者の上位の成績では、大阪サーフの杉本さんが 6 位、10 位にアングラーズの沢田さん、アワジフイッシングの小山さんと、関西暁サーフの三崎さんが 24 位、33 位に大阪投友会の廣瀬さんとアングラーズの中野さんが入られた。当日は台風の影響で海が荒れており予選、決勝とも 0 匹の方もおられた。因みに、優勝者は予選で 2 匹、決勝で 9 匹という結果だった。海の荒れ方が大きく危険を感じる事もあり、そんな中少し問題となった行動があった。膝くらいまで水に浸かって釣りをしている人がいたようで、大会委員長が注意を行った。砂浜と言っても荒れると危険を伴い、過去にも事故が発生しているので、注意をしてほしい。

■協会クリーンアップ活動について

- ・本日、申し込みを受付けた処、28 クラブ、会員 100 名 一般・子供の方 3 名の、合計 103 名の参加申し込みがあった。当日の参加も結構なので、より多くの参加をお願いする。

■第 150 回 協会秋季大会について

- ・申し込み集計をした処、会員 181 名と少女・少年 3 名の合計 184 名の申し込みがあり、PJ にて会場責任者を決め、10 月理事会にて参加名簿等の書類を会場責任者に配布する。会場責任者に選任されたクラブの方はご協力をお願いする。
- ・3 会場が参加申し込み無しや参加クラブ不足等で不成立となった。⑧境港会場は申し込み無し。⑨坂出会場は、申し込み 1 名で、両会場は不成立となります。坂出会場に申し込まれた方は変更をお願いする。①南紀会場は、2 クラブですが参加人数が 7 名で、会場成立条件を満たしていないが、以前も皆さんの承認で認めた経緯があるので、今回もご承認いただき、①南紀会場は、2 クラブ 7 名ですが会場成立とする。

■その他

- ・義援金についてですが、連盟より義援金配分についての通知が届いた。内容は、災害が 6 月の豪雨に始まり、地震、台風と続き各地で被害が出ている。頭初は、集中豪雨による被害のために義援金を集めたが、その後、他協会より地震や台風により各地で被災された会員の方がいるかもしれない。その方達に対する義援金も集めるのかとの話があり、その都度義援金を集めるのも問題があるため、今回の義援金については最近の大きな災害をまとめて、被災された方に分配する提案が連盟からあった。大阪協会は既にご協力いただいております。集まった義援金については、全ての被災者の方に送るので、皆さんのご了承をお願いします。10 月末までに各協会に被害調査表を配布し提出を行っていただき、11 月の常任理事会にて配分を報告、その後被災協会に送る予定となっている。各地の被災状況も把握できておらず、どの位の規模になるかも決まっていない。また、義援金についても全て集まっていない。全てが決まったら、改めて報告したいと思っている。今回続いた災害で、被災された会員さんがおられる等を聞いているクラブは連絡をお願いします。被害の程度については、人的被害が第一と思いが、瓦の飛散と言っても屋根上の全ての瓦が飛んだ場合や、半分だけ飛んだ場合もある。被害があった事は全て報告するつもりなので、被害に合われた方は報告を宜しくをお願いします。どの程度の被害に義援金を配布するのかは別問題なので、被災した報告をお願いします。各会員さんに説明して頂き、10 月理事会にて報告をいただけるようお願いする。今この場で、一人一人の話を聞いてもまとまらないので、各クラブでまとめていただき、損害があった場合は修理費用

等も判れば記載していただきたいと思います。私自身も連盟から詳細な事は聞いていないので、被災状況と被害状況損害金額等が解れば報告を宜しく願います。ただし、報告いただいても義援金をお渡しできるかはわからないのでその点はご了承を願います。

■大阪・兵庫合同納竿大会について

- ・要綱は昨年と同様です。実施日は12月9日、参加費は1100円（女性・少年600円）、釣り開始が、9日午前0時から自由出漁。審査場所は淡路島公園。審査時間は午後0時から0時30分。対象魚はカレイ・アイナメを含む2匹長寸。（スズキ・コブダイは除く）他魚の部はスズキ・コブダイの1匹長寸となっている。この要綱で、兵庫協会に連絡する。

※ 11月集会 11月1日（木） 第1木曜日

以 上